



当町の安心安全のための防災・減災等について



町長 当町の統一防災訓練は、町民参加型の避難誘導訓練の実施を検討する



○ 直近2年間地域住民の防災訓練が実施されない理由は。

■ 令和6年度は、台風接近の影響で中止とした。令和7年度は、「九都県市防災合同訓練」視察のため、訓練を行わなかった。

○ 防災訓練等を熱中症のリスクが低い時期に実施できないか。

■ 熱中症のリスクが低い時期（5月頃）に統一防災訓練等を実施・検討する。
○ エアコン設置（買替）等に補助を。

■ 当町は、補助要綱を定めていない。埼玉県内の市レベルでは、二酸化炭素の排出量の低いエアコン（☆3以上）に補助の支給が見受けられる。今後、各課で連携し考える。

○ 災害時要支援者行動要

支援者名簿の取組みは。
○ 統一防災訓練等を実施する中で実際に訓練が重要なので要支援者の方にも参加・連携をしてもらう。
○ 本年3月発行のハザードマップの活用は。

○ 町内の小・中学校の児童、生徒では、防災授業で活用している。今後、地域住民の方に、防災教育を積極的に行政から働きかける。

町道都719号線道路改良工事（馬場地内）改良区間延長は 小宮 正



○ 令和7年度に着工した町道都719号線の道路改良工事については、用地買収もすでに完了していることから、令和8年度以降も工事を進めていく計画である。都719号線南側の工事終点部から馬場公会堂

までの町道2127号線には、約70mの未改良で狭い区間が残っている。緊急車両の進入路として重要である。小・中学生の通学路として利用しているこの区間を整備することで通行の安全、町民の利便性も高まる

と思うが町の考えは。
○ 現在、町道都719号線の藤間橋から北側の区間について、道路改良工事とともに、藤坂分譲地の拡張を実施しており、藤間橋から南側の区間についてもすでに用地買収を完了し、来

年度、道路改良工事を計画している。
○ この路線の南側に接続する町道2127号線については、馬頭観音堂までの約70mが未改良であり、緊急車両の通行困難や、普通自動車とのすれ違いが来らず、不便が生じている。地元区長と連携を図りながら道路改良を進めていく。



町道2-27号線



都幾川中学校と玉川中学校の統合を

山中博子



教育長 学校規模の適正化の観点から学校の在り方等について研究を始めた



○ 学校施設の環境改善の中の陸上トラックのタータン化と野球場のホームベースの正常位置移動の件は実施できるのか。
○ タータン化は一千万円単位の費用がかかると想定されるので実施は難しい。

○ ホームベースの件は早期実施を含めて検討する。
○ 岡山県美咲町の視察でどのようなことが当町に活かせるのか。
○ 小中一貫校や義務教育学校等の選択肢として活かせる。

○ 民法第95条を行使して和解を取り消し町民の大きな税金を取り戻す意志はあるのか。
○ 和解無効の訴えを提起

する予定はない。
○ 町長への手紙は全てに目を通し、返事は全て町長の言葉なのか。
○ 全てに目を通し、私の考えに基づき回答している。
○ 6回に渡るAさんからの町長への手紙の返事はあまりにも優しくなくこれでは出しても無駄だと町民は思うのでは。
○ 既に裁判関係は完結しているので対応しない。

ふるさと納税の現状と今後の展望について

前田 栄



ふるさと納税は、地方と都市の格差は正・人口減少地域における税収減少対応と地方創生を主な目的とし、2008年から開始された税制の一つである。
○ ふるさと納税寄附額において、本町は2023年

63市町村中62位であったが、2024年は54位であった。どのような努力をしたのか。
○ 都内や他の自治体イベントに参加しPR、町内事業所へ協力の働きかけ、返礼品として使える電子決済の導入、寄附金受領証明書

に記念品を同封するなど、担当者が熱意をもって取り組んだ。
○ 本町における寄附金の具体的な使途と成果は。
○ 水源地域の森づくり事業、川のまるごと再生町事業、サイクリング環境整備

事業、子育て支援事業等13事業の目的に活用。
○ 成果としては、ときがわ町と何ら関係のなかった寄附者と繋がりができ、また、歳入も増加し、寄附の目的に沿った各事業の財源として活用している。町としては、町を応援したいという方が一人でも増えるよう努めていく。

